

元週刊ポスト編集長・ジャーナリストの
目からウロコの「患者学」読本!!

「ガン」を切らずに10年延命!

『週刊ポスト』元編集長でジャーナリストとしても活躍している関根さんの転機は、10年前に訪れました。膀胱ガンに次いで難しいとされる食道ガンが見つかったのです。当時の主治医は手術を勧めたが、断固として拒絶。抗がん剤治療と放射線治療を受け退院後、独自の療法である「複合漢方力」を実践して10年が経過しました。そこから導き出したのが、関根さんの最新刊『ガン』を切らずに10年延命! 複合漢方力の驚異(ダイヤモンド社刊)です。

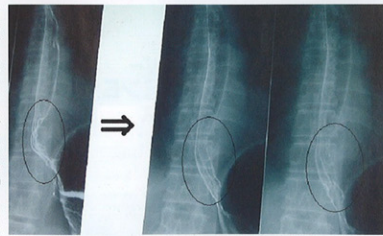
「複合抗がん漢方薬との出会いは運命を決めた!」

「ガンは情報戦」という関根さんは、職業柄、情報取得は得意でした。病院に持ち込んだノートパソコンを駆使して検索していたと、たまたま香港のサイトから複合抗がん漢方薬「天仙液」という医薬品があることを知りました。これは、中国・吉林省の北朝鮮との国境を挟む靈峰、長白山

「元氣延命」を掴んだ体験ドキュメント!
薬食同源||複合漢方力でガンを克服した!!



10年前のガン病床での著者と現在(円内)



食道下部の腫瘍(写真左)が1ヵ月半後の検査で消えた(写真右)

に生育している朝鮮人参や冬虫夏草など自然のままの薬草を調合した中国政府認可の複合抗がん漢方薬です。

特に消化器系のガンによいらしく、抗がん剤と放射線とを併用すると80数パーセントの治療率が認められたという研究データがあったので、すぐに注文(注:日本では未承認薬なので個人輸入で入手)。製品が届いたときには、すでに抗がん剤と放射線の副作用で嘔吐と下痢で苦しんでいましたが、主治医に内緒で飲みました。

「開病生活で大切なのは、運と縁をつかむこと。さらにためにも情報でも希望をもつこと。もうひとつ大切なのは、「患者力」や「家族力」のために役立つと感じる、「自己有用感」を感じれば、生きる「自己有用感」を感ずる。関根さんは、きつぱりと結んでいました。

断固として手術を拒否、選択した3つの療法

「断固として手術を拒否、選択した3つの療法」

「当時は副作用がひどく、普通のサプリメントは匂いがかきつて飲めなかった。でも、この「天

健康食品の「SOD」を飲みつつ、抗がん剤、放射線療法を1ヵ月半行っただけ、再び検査となりました。ここで奇跡が起きたのです。何と、約6センチのソーセイ

「取材協力 漢方健康ネットワーク 03(5785)2279」

話題の本
著者インタビュー
10年延命!
ガン
複合漢方力の驚異
元週刊ポスト編集長・ジャーナリストの
目からウロコの
患者学読本
元気で長生きしなければ意味がない!
ダイヤモンド社刊(定価1,500円) 現在、増刷され5刷となっている

ダイヤモンド社刊(定価1,500円) 現在、増刷され5刷となっている